

野田総理発ナジブ・ラザク・マレーシア首相宛て祝賀メッセージ(骨子)

東方政策30周年に際し、閣下からの心温まるメッセージに御礼申し上げるとともに、日本国政府及び日本国民を代表し、心からお祝い申し上げます。

1982年に貴国で東方政策が開始されて以来、これまでに約1万5千人の貴国の優秀な若者が、日本式の労働倫理や経営手法を学ぶべく、我が国で研鑽を積み、貴国の発展に貢献されてきました。貴国からの留学生及び研修生の受入れが貴国の発展の一助となったことを、また、貴国で多くの知日家・親日家が育ち、両国の架け橋として活躍されていることを大変喜ばしく思います。現在の良好かつ緊密な二国間関係は、この東方政策により培われた両国間の「絆」に支えられていると言っても過言ではないでしょう。

昨年3月に我が国を襲った未曾有の大震災は、日本国民に多くの苦難と試練をもたらすと同時に、貴国を始めとする世界各国との間で、このような「絆」を再確認する機会となりました。我が国への支援を呼び掛ける下院決議や義援金のための基金設立など、貴国が一体となって我が国を支援いただいたことに改めて感謝申し上げます。

この30年で世界の歴史の重心は大きく移り、世界はアジアの世紀とも言われる時代を迎えました。その中で貴国は、貴首相のリーダーシップの下、2020年に高所得国になる目標を掲げ、堅調な成長を続けており、世界の成長センターの一翼として、世界経済の発展を牽引していくことと確信しています。我が国の復興は、豊かで安定したアジアとの「絆」なくしてあり得ず、また、アジアの平和と繁栄を確保するためには、我が国の貢献が不可欠であるとの考え方に基づき、貴国と引き続き連携していきたいと考えます。

アジアの「絆」を深め、共に繁栄していく上で、我が国と貴国が共に知恵を絞り、東方政策の下でアジアの未来を担う人材の育成に取り組んでいく意義は極めて大きいと考えます。例えば、東方政策の集大成とも言えるマレーシア日本国際工科院(MJIT)は、ASEANにおける工学教育の重要拠点として、地域の発展に大いに貢献できると信じています。